

2003年度 B l o c k . 6

課 題 N o . 5

課題名：Aさんの背部痛



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害とありますのでご注意ください。

2003-B6-T2-5

A さんの背部痛

シート 1

A さんは 70 歳の男性です。約 1 ヶ月前より背中中の痛みが出現し、自宅でシップなどをしましたがよくなりず、むしろ徐々に悪化し体動も困難となったため来院、精査のため入院となりました。

抽出事項

- ・ 背中中の痛み
- ・ 1 ヶ月前、徐々に増悪、体動困難になる痛み
  - 背部痛をきたす疾患と、主な鑑別診断(A-1)
- ・ 精査のため入院
  - 入院後にどのような情報を得たいか、どのような検査が必要か具体的に挙げ、必要に応じて、供覧
- ・ 病歴に肺がんの既往
  - 肺がんの分類と一般的治療法 (A-2)

供覧 患者病歴と入院時理学的所見

胸部 X 線  
心電図  
血算、血液生化学  
腫瘍マーカー  
骨シンチグラフィー  
胸椎 MRI  
胸部 CT

2003-B6-T2-5

Aさんの背部痛

2003-B6-T2-5

Aさんの背部痛

## シート2

検査の結果 Aさんは肺がんの再発、胸椎転移との診断を受けました。主治医からは手術以外の治療を計画しましょう、と言われました。疼痛に対してはジクロフェナク、リン酸コデインの内服を始めましたが、Visual analogue scale は 95/100 と効果は十分ではなく痛みで眠れない夜が続いたためペインクリニックを受診しました。

## 抽出事項

- ・ 手術以外の治療の計画
  - 肺がんの stage とそれに対する治療(A-2)
- ・ ジクロフェナク、リン酸コデインの内服を始めたが無効
  - NSAIDs、麻薬性鎮痛薬の作用機序
  - WHO 方式がん疼痛治療法の段階式鎮痛薬の投与方法について学び、基本的な原則を知る(A-3)
- ・ 効果は十分ではなく痛みで眠れない
  - 次に進む段階を考える
  - 経口モルヒネ薬の種類、副作用(B-2)
- ・ Visual analogue scale
  - 疼痛の評価方法を調べる(B-1)
- ・ がんの転移による痛み
  - がん性疼痛の原因にはそのほかにどんなものがあるか(B-1)
  - がん性疼痛患者における total pain という概念を知る(B-3)

供覧 MS コンチンの写真、添付文書

## シート3

コデインを硫酸モルヒネ徐放剤に変更し増量することで、安静時痛は消失しました。動作時痛は残りましたが、その程度はVAS40/100となりました。

予定していた放射線治療を開始しようとしたところ、Aさんは抑うつ的な表情で、医療者や家族ともあまり話をしなくなりました。「肺がんを告知した時」とは印象が違うと感じた主治医はリエゾン依頼をしました。精神科医がAさんの話を傾聴していくと、「話をしたくない時がある。何もかも億劫でたまらない。妻に迷惑をかけていて悪い気がする」と訴えます。67歳の奥様は「夫が話をしなくなった」と困惑し、泣きはじめてしまいました。鑑別診断のため頭部CTを施行しました。

## 抽出事項

## ・抑うつ的で話をしなくなったAさん

→進行がんに合併した「うつ病」と「通常の心理的反応」の違いについて考える  
(A-4,A-5)

## ・リエゾン精神医学

→他の精神疾患（症状性・器質性精神病）と鑑別をする（B-4）  
家族の苦悩と心理的負担の理解する（C-2）

## 供覧

頭部CT



## シート 4

リエゾン医は、Aさんを「うつ病」と診断し、治療を開始しました。また、奥様にもAさんがうつ病になっていることを説明し、家族には医療相談室に行き今後どのような社会的支援が受けられるか相談してもらうことにしました。

## 抽出事項

## ・ うつ病の治療

→ 支持的精神療法と薬物療法 (SSRI-selective serotonin reuptake inhibitor・  
fluvoxamine, paroxetine) について理解する  
家族への病状説明と指導 (傾聴、叱咤激励の禁止) が必要なことを考える (A-4)

## ・ 社会的支援

→ 医療相談室の活用 (C-2)

シート 5

SSRI (selective serotonin reuptake inhibitor) を始めてから 10 日後には面会時少し家族と話をするようになりました。しかし、内容は家族に迷惑をかけてすまないことや今後の治療の不安などでした。2 週間後には、「話しが出来るようになって気分が楽になった。テレビを観ても煩わしくなくなった」と言っていました。3 週間後から「がんの治療を受けて、早く家に帰りたい」と希望するようになりました。

抽出事項

- ・ うつ病の軽快
  - がん患者の治療意欲の回復 (C-1)
- ・ 在宅支援の種類
  - 介護保険-ヘルパー制度、デイサービスの活用など (C-1,2)